

鶴岡調査データベース ver.2.0

解説（改訂版）

国立国語研究所

2017 年 12 月 20 日

鶴岡調査データベース ver.2.0 解説（改訂版）

目次

第1部 データの概要	4
1. 鶴岡調査データベース ver.2.0 について	4
2. 鶴岡調査の概略	4
3. 調査対象者数	5
4. データ項目	6
5. データベース作成の方針	9
6. 鶴岡調査の組織	9
第2部 コードブック	11
1. コードブックの構成	11
2. 基礎項目	11
調査対象者通し番号	11
調査対象者 No.	11
調査回	12
サンプル種別	12
パネル ID	12
パネル種別	12
性別	13
生年	13
年齢	13
年代	13
居住地	14
言語形成地	15
言語形成地コード	15
言語形成期の鶴岡居住年数	15
言語形成期の山形県居住年数	16
職業	16
学歴	17
父親の出身地	17
母親の出身地	17
配偶者の出身地	18
3. 音声・音韻項目	19
201. クチ（口；有声性）	19
202. ヒゲ（髭；唇音性Ⅱ）	20
203. セナカ（背中；口蓋性）	20

203a. セナカ（背中；アクセント）	21
204. アセ（汗；口蓋性）	21
205. ハチ（蜂；有声性）	22
206. ハト（鳩；有声性）	22
207. ネコ（猫；有声性）	23
207a. ネコ（猫；アクセント）	23
208. ヘビ（蛇；唇音性Ⅱ）	24
209. マド（窓；鼻音性）	24
210. ハタ（旗；有声性）	25
210a. ハタ（旗；アクセント）	25
211. スズ（鈴；鼻音性）	26
212. オビ（帯；鼻音性）	26
213. クツ（靴；有声性）	27
214. カキ（柿；有声性）	27
215. マツ（松；有声性）	28
216. スイカ（西瓜；唇音性Ⅰ）	28
217. カヨウビ（火曜日；唇音性Ⅰ）	29
218. ヒャク（百；唇音性Ⅱ）	29
219. ゼイムショ（税務署；口蓋性）	30
220. イキ（息；イとエⅡ）	31
221. エキ（駅；イとエⅠ）	32
222. イト（糸；イとエⅡ）	33
223. エントツ（煙突；イとエⅠ）	34
224. チジ（知事；中舌音Ⅱ）	35
225. チズ（地図；中舌音Ⅰ）	35
226. シマ（島；中舌音Ⅱ）	36
227. スミ（墨；中舌音Ⅰ）	36
228. カラス（烏；中舌音Ⅰ）	37
228a. カラス（烏；アクセント）	37
229. カラシ（辛子；中舌音Ⅱ）	38
230. キツネ（狐；中舌音Ⅰ）	38
231. ウチワ（団扇；中舌音Ⅱ）	39
231a. ウチワ（団扇；アクセント）	40
4. 言語生活項目	41
C1. 家の中のことば	41
C2. 近所の顔見知りとのことば	42
C3. 鶴岡で顔見知りでない人とのことば	42
C4. 旅の人とのことば	43
5. その他の項目	44
調査者 No.	44
6. 度数表	45

第1部 データの概要

1. 鶴岡調査データベース ver.2.0 について

鶴岡調査データベースは、国立国語研究所共同研究プロジェクト（基幹型）「文字環境のモデル化と社会言語科学への応用」（プロジェクトリーダー：横山詔一，2009年10月～2016年3月）及び「日本語の大規模経年調査に関する総合的研究」（プロジェクトリーダー：井上史雄，2012年4月～2016年3月）において、整備したものである。データ整備は主に阿部貴人（現専修大学准教授，元国立国語研究所プロジェクト非常勤研究員）が担当し，2017年4月26日に鶴岡調査データベース ver.1.0 を公開した。

今回，第2回調査・第3回調査のパネルサンプルの回答データ（音声・音韻項目）を追加収録し，鶴岡調査データベース ver.2.0 として公開するものである。ver.2.0 の公開にあたり，追加項目の整備，ver.1.0 の統一コード及び収録データの見直し，コード使用度数表の作成，解説書の改訂を行った。この作業は，高田智和，鍾水兼貴，横山詔一，前川喜久雄が担当した。

本データベースを利用して研究を行った場合は，クレジットとして，以下の情報を記載してくださいようお願いする（国立国語研究所のサイト改変により，アドレスが変更になった場合は，適宜変更されたい）。

著作者： 国立国語研究所

データベース名： 鶴岡調査データベース ver.2.0

ダウンロードサイト： <http://www2.ninjal.ac.jp/longitudinal/>

鶴岡調査データベース ver.2.0 は，Microsoft Excel 形式（xlsx）で配布する。

tsuruoka-database-2.0.xlsx

また，ver.1.0 からの修正箇所（ver.2.0 で追加したパネルサンプルの回答データを除く）を記述したファイルも配布する。

tsuruoka-database-2.0-modification.txt

2. 鶴岡調査の概略

国立国語研究所と統計数理研究所は，山形県鶴岡市を定点観測フィールドとして「地域社会における方言の共通語化」に関する実態調査（以下，鶴岡調査）を1950年（昭和25年）から2011年（平成23年）まで約20年間隔で4回にわたって経年的に実施してきた。

鶴岡市は山形県の庄内地方南部に位置する。旧鶴岡藩（通称、庄内藩）の城下町で、文化・経済の中心都市として栄えた。

鶴岡調査で用いられた質問項目は、音韻・アクセント、語彙、文法などに関する「言語項目」と、言語行動と言語意識を含む「言語生活項目」から成る。

鶴岡調査は、第1回～第4回調査まで、いずれも物資配給台帳や住民基本台帳などにもとづいて無作為に抽出されたサンプルを調査対象者（インフォーマント）としてきた。この調査は方法論の面で以下の3つの特長がある。

- (1) 言語変化に関する世界最長の「実時間研究」である。
- (2) 約20年間隔でランダムサンプリングを実施し、毎回約400名前後の調査対象者に対して基本的に同じ質問項目を4回繰り返した「トレンド調査」である。
- (3) トレンド調査に参加した調査対象者を約20年間隔で経年的に追跡し、基本的に同じ質問項目を繰り返した「パネル調査」データを含む。

鶴岡調査の報告書は以下のものが刊行されている。鶴岡調査の詳細は報告書を参照されたい。

第1回調査 『地域社会の言語生活：鶴岡における実態調査（国立国語研究所報告5）』（国立国語研究所，1953）

第2回調査 『地域社会の言語生活：鶴岡における20年前との比較（国立国語研究所報告52）』（国立国語研究所，1974）

第3回調査 『地域社会の言語生活：鶴岡における20年間隔3回の継続調査』（国立国語研究所，2007）

第4回調査 『第4回鶴岡市における言語調査 ランダムサンプリング調査の概要 資料編：第1分冊「音声・音韻」編』（統計数理研究所・国立国語研究所，2014）
『第4回鶴岡市における言語調査 資料編：第2分冊「語彙・文法 言語生活項目」編』（統計数理研究所・国立国語研究所，2015）

3. 調査対象者数

鶴岡調査データベース ver.2.0には、第1回～第3回調査までの回答データを収録している。第1回～第3回調査までの調査対象者の総数は1,717である。これは、第1回～第3回調査において調査を行った調査対象者の延べ人数である。

鶴岡調査は、前述のように、トレンド調査（以下、ランダムサンプリング調査）とパネル調査を実施してきた。ランダムサンプリング調査の調査対象者をランダムサンプル、パネル調査の調査対象者をパネルサンプルとして、第1回～第3回調査までの調査対象者の内訳を表1に示す。

なお、第3回調査では、パネルサンプルの資格者が、ランダムサンプルになった事例が6件ある。6件とも、第2回・第3回調査の2回連続で、ランダムサンプルになったものである。ランダムサンプルであり、かつパネルサンプルであるため、ランダム・パネル共通サンプルと呼ぶ。

表 1 鶴岡調査の調査対象者の内訳

	第 1 回調査 (1950 年)	第 2 回調査 (1971 年)	第 3 回調査 (1991 年)
ランダムサンプル	496	401	399
ランダム・パネル共 通サンプル	0	0	6
パネルサンプル	0	107	308
合計	496	508	713

また、第 1 回～第 3 回調査までのランダムサンプルとパネルサンプルとの関係は図 1 のようになる。サンプル数を添えて示す。

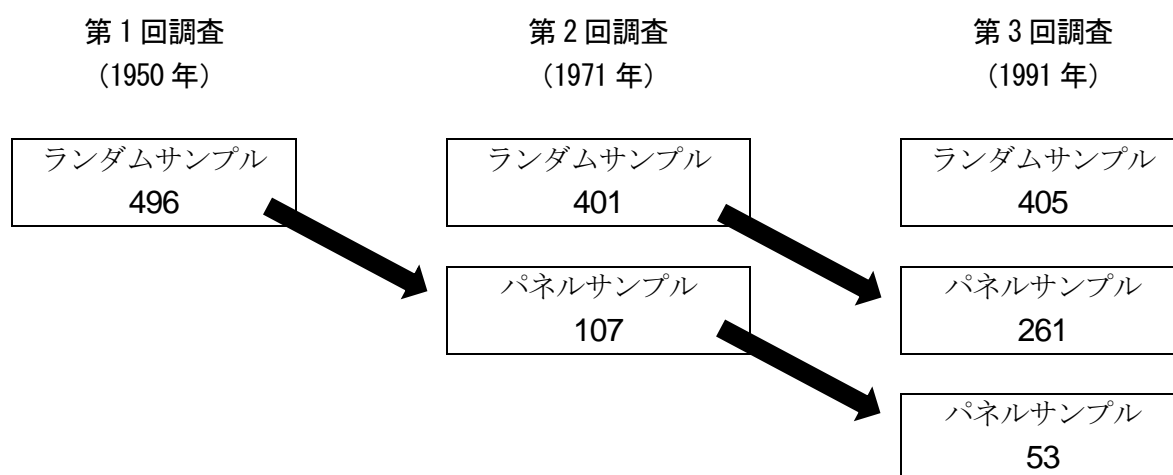


図 1 ランダムサンプルとパネルサンプルとの関係

パネルサンプルの種類とそれぞれのサンプル数は、次の通りである。

- (1) 第 1 回・第 2 回・第 3 回調査の 3 回連続 53 サンプル
- (2) 第 1 回・第 2 回調査の 2 回連続 54 サンプル
- (3) 第 2 回・第 3 回調査の 2 回連続 261 サンプル

4. データ項目

鶴岡調査データベース ver.2.0 には、以下の項目を収録した。本データベースの質問番号（統一番号）を〔 〕， ver.2.0 で増補した項目には*を添えて示す。

調査対象者の属性に関する基礎項目（19項目）

- 調査対象者通し番号*
- 調査対象者 No.
- 調査回
- サンプル種別*
- パネル ID*
- パネル種別*
- 性別
- 生年
- 年齢
- 年代
- 居住地*
- 言語形成地
- 言語形成地コード
- 言語形成期の鶴岡居住年数
- 言語形成期の山形県居住年数
- 職業
- 学歴
- 父親の出身地
- 母親の出身地

第1回～第3回の全調査で実施した音声・音韻項目（36項目）

(1) 唇音性Ⅰ（合拗音 kwa の有無を見る項目）

西瓜（スイカ）の「カ」 [216]

火曜日（カヨウビ）の「カ」 [217]

(2) 唇音性Ⅱ（ハ行における両唇音の有無を見る項目）

髭（ヒゲ）の「ヒ」 [202]

蛇（へび）の「へ」 [208]

百（ヒャク）の「ヒャ」 [218]

(3) 口蓋性（「セ」「ゼ」における口蓋化の有無を見る項目）

背中（セナカ）の「セ」 [203]

汗（アセ）の「セ」 [204]

税務署（ゼイムショ）の「ゼ」 [219]

(4) 有声性（非語頭におけるカ行・タ行の有声化の有無を見る項目）

口（クチ）の「チ」 [201]

蜂（ハチ）の「チ」 [205]

鳩（ハト）の「ト」 [206]

猫（ネコ）の「コ」 [207]

旗（ハタ）の「タ」 [210]

靴（クツ）の「ツ」 [213]

柿（カキ）の「キ」 [214]

松（マツ）の「ツ」 [215]

(5) 鼻音性（非語頭におけるザ行・ダ行・バ行の直前の入りわたり鼻音の有無を見る項目）

窓（マド）の「ド」 [209]

鈴（スズ）の「ズ」 [211]

帯（オビ）の「ビ」 [212]

(6) 中舌音Ⅰ（ウ段音における中舌化の有無を見る項目）

地図（チズ）の「ズ」 [225]

墨（スミ）の「ス」 [227]

烏（カラス）の「ス」 [228]

狐（キツネ）の「ツ」 [230]

(7) 中舌音Ⅱ（イ段音における中舌化の有無を見る項目）

知事（チジ）の「ジ」 [224]

島（シマ）の「シ」 [226]

辛子（カラシ）の「シ」 [229]

団扇（ウチワ）の「チ」 [231]

(8) イとエⅠ（語頭の母音エにおける狭母音化の有無を見る項目）

駅（エキ）の「エ」 [221]

煙突（エントツ）の「エ」 [223]

(9) イとエⅡ（語頭の母音イにおける中舌母音の有無を見る項目）

息（イキ）の「イ」 [220]

糸（イト）の「イ」 [222]

(10) アクセント

背中（セナカ） [203a]

猫（ネコ） [207a]

旗（ハタ） [210a]

烏（カラス） [228a]

団扇（ウチワ） [231a]

場面による使い分け意識についての言語生活項目（4項目）

- 家の中のことば [C1]
- 近所の顔見知りとのことば [C2]
- 鶴岡で顔見知りでない人とのことば [C3]
- 旅の人とのことば [C4]

調査に関するその他の項目（1項目）

- 調査者 No.*

5. データベース作成の方針

鶴岡調査データベースは以下の方針によって作成した。

- (1) 第1回～第4回調査において継続して実施した質問項目を収録する。
- (2) 調査票の設計にしたがって統一コードを設定し、回答をコード化する。

言語使用の経年変化を捉えるためのデータベースとして、第1回～第4回調査を通して、継続して実施された質問項目をデータ化の対象とする。そのため、各調査回独自の質問項目は収録の対象外とする。ver.2.0は第1回～第3回調査までの主として音声・音韻項目の収録にとどまるが、今後、第4回調査の回答データや語彙・文法項目、言語生活項目の収録を行い、データベースの拡張を予定している。

また、各質問項目は、第1回調査（1950年）の実施以前に、共通語との対比で鶴岡の地域言語の特徴を分析し、設定されたものである。変化を捉えるための観点が、調査票の分類コードとして実現されている。分類コードは、調査者が調査対象者の回答を分類し、各調査回の報告書作成時の集計に用いられている。データベースの作成においても、各調査回の調査票の分類コードに基づいて統一コードを設定し、各調査回の調査結果を共通の枠組みで通覧できるようにした。

6. 鶴岡調査の組織

最後に、第1回～第3回鶴岡調査の研究組織を掲載する。

第1回調査（1950年）

岩淵悦太郎，中村通夫，柴田武，林知己夫，飯豊毅一，北村甫，島崎稔，山之内り，金田一春彦，青山博次郎，西平重喜，浅井恵倫，森岡健二，上甲幹一，岡部英子，山崎英子，田熊雅子，野元菊雄，山本尚美，安藤舎予子，寺島愛，友部浩，関善二

※昭和25年度文部省科学試験研究費補助金「地域社会の言語生活—鶴岡における実態調査—」の助成を受けた。

第2回調査（1971年）

岩淵悦太郎，野元菊雄，飯豊毅一，徳川宗賢，本堂寛，佐藤亮一，中村明，高田誠，江川清，村木新次郎，南不二男，渡辺友左，鈴木裕久，倉沢進，林知己夫，鈴木達三，林文，高橋和子，平野秀子，大高道子，時永沙代子，高田正治，井上史雄，上野善道，真田信治，小林信子，堀江よし子，日高貢一郎，田中ハル子

※昭和46年度文部省科学研究費試験研究費「社会変化と言語生活の変容」の助成を受けた。

第3回調査（1991年）

江川清，米田正人，杉戸清樹、熊谷康雄，相澤正夫，伊藤雅光，前川喜久雄，尾崎喜光，横山詔一、井上優、大西拓一郎、池田理恵子，白沢宏枝，辻野都喜江，塚田実知代，磯部よし子，米田純子，佐藤亮一，今石元久，井上史雄，高田誠，真田信治，鈴木敏昭，吉岡泰夫，沢木幹栄，加藤和夫，佐藤和之，金沢裕之，水野義道，新田哲夫，渋谷勝己，篠崎晃一，早野慎吾，堀司郎

※平成3～4年度文部科学省科学研究費補助金 総合研究（A）「地域社会の言語生活—鶴岡市における戦後の変化—」の助成を受けた。

第2部 コードブック

1. コードブックの構成

第2部「コードブック」では、鶴岡調査データベース ver.2.0に収録した、基礎項目、音声・音韻項目、言語生活項目（場面による使い分け意識）、その他の項目の順に、統一コード表を掲げる。また、末尾にコード使用度数表を掲載する。

2. 基礎項目

基礎項目は、調査対象者 No.や性別、生年といった調査対象者の属性に関する項目である。

調査対象者通し番号

コード
1～1717

調査対象者の通し番号である。第1回調査ランダムサンプル、第2回調査ランダムサンプル、第2回調査パネルサンプル、第3回調査ランダムサンプル、第3回調査パネルサンプルの順に並び、通し番号を自然数で記入した。

調査対象者 No.

コード	内訳
01000～54104	第1回調査
010001～899101	第2回調査
001K～500K, 001P～370P	第3回調査

各調査における調査対象者 No.を記す。第1回調査は数字5桁、第2回調査は数字6桁、第3回調査は数字3桁とアルファベット1文字（ランダムサンプルは「継続」の「K」、パネルサンプルは「パネル」の「P」）である。なお第1回調査では、調査対象者 No.の数字5桁の後にブライム（ダッシュ）が付いているものがある（52サンプル）。

ランダムサンプリング調査の調査対象者 No.はサンプリングを終えた段階で与えるものである。また、パネル調査の調査対象者 No.は前の回の調査対象者のリストを作成した段階で与えるもの

である。転出や調査拒否などにより、すべての対象者に対して面接調査が行えるわけではないため、調査完了となった調査対象者 No.は連番にはならない。

第3回調査では、ランダム・パネル共通サンプルが6件ある。ランダム・パネル共通サンプルは、ランダムサンプルの調査対象者 No.とパネルサンプルの調査対象者 No.とを、ランダムサンプル、パネルサンプルの順にセミコロン (;) でつないで併記した。

調査回

コード	内訳
1	第1回調査
2	第2回調査
3	第3回調査

サンプル種別

コード	内訳
ランダム	ランダムサンプル
ランダム・パネル	ランダム・パネル共通サンプル
パネル	パネルサンプル

サンプルの種別を示した。サンプル種別は「第1部 4.調査対象者数」を参照。

パネル ID

コード
P0001～P0567

パネルサンプルの同定用にパネル ID を設けた。パネル ID は「P」と数字4桁の組み合わせである。

パネル種別

コード	内訳
123	第1回・第2回・第3回調査の3回連続
12	第1回・第2回調査の2回連続
23	第2回・第3回調査の2回連続

パネルサンプルの種別を示した。パネル種別は「第1部 4.調査対象者数」を参照。

性別

コード	内訳
1	男
2	女

生年

コード
西暦(4桁数字)

年齢

コード
年齢(2桁数字)

調査年（1950，1971，1991）から「生年」を引き算して、機械的に算出したものである。

年代

コード	内訳
1	10代
2	20代
3	30代
4	40代
5	50代
6	60代
7	70代
8	80代
9	90代

※ver.2.0では、パネル調査のデータを追加したため、統一コード「7：70代」「8：80代」「9：90代」を新たに設けた。

「年齢」を「10歳刻みの年代」データに数値化したものである。

居住地

コード

町域名(テキスト)

調査対象者の調査時の居住地を、鶴岡市内の場合は町域名、鶴岡市外の場合（主にパネルサンプルの場合）は「山形県〇〇郡〇〇町」のように記した。

各調査回の町域名は次の通りである。

第1回調査（1950年）

新士町、荒町、泉町、五日町、駅前、大海町、鍛冶町、賀島町、家中新町、上肴町、紙漉町、銀町、幸町、栄町、七軒町、島、下肴町、十三軒町、新斎部、新町、新屋敷町、大宝寺、鷹匠町、高畑町、宝町、天神町、十日町、鳥居町、仲道、七日町、新形、二百人町、八間町、馬場町、番田、日枝、一日市町、檜物町、日和町、三日町、南町、最上町、元曲師町、八坂町、柳田、八日町、吉住町、与力町、若葉町

※大宝寺第一・第二・第三・第四は「大宝寺」にまとめた。

第2回調査（1971年）

青柳町、泉町、稻生町、家中新町、上畑町、三光町、山王町、昭和町、新海町、神明町、末広町、文園町、千石町、大東町、大宝寺町、宝町、鳥居町、新形町、錦町、馬場町、日吉町、双葉町、本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、みどり町、美原町、三和町、睦町、陽光町、若葉町、山形県東田川郡羽黒町

第3回調査（1991年）

青柳町、泉町、稻生一丁目、稻生二丁目、井岡、大塚町、大西町、家中新町、上畑町、切添町、小真木原町、小淀川、三光町、山王町、城南町、城北町、昭和町、新海町、新斎部、神明町、末広町、砂田町、千石町、大東町、大宝寺、大宝寺町、高坂、宝田二丁目、宝町、長者町、朝陽町、茅原、道形、道形町、外内島、鳥居町、苗津町、新形、新形町、錦町、西新斎町、馬場町、番田、日枝、東新斎町、東原町、日出一丁目、日出二丁目、日吉町、双葉町、文園町、文下、本町二丁目、本町一丁目、本町三丁目、道田町、みどり町、美原町、三和町、睦町、陽光町、淀川町、若葉町、山形県西田川郡温海町、山形県西村山郡朝日町、山形県東田川郡櫛引町、山形県東田川郡三川町

第1回調査（1950年）と第2回調査（1971年）との間に、鶴岡市内の町域名が大きく変更されている。新旧町域名の対応は、第2回調査の報告書『地域社会の言語生活：鶴岡における20年前との比較』（国立国語研究所、1974）のp.46を参照されたい。

言語形成地

コード
地域名(テキスト)

5歳～13歳までの9年間のうち、5年以上を過ごした地域名を記した。鶴岡市の場合は「鶴岡市」とし、鶴岡市を除く山形県内の地域名は「山形県〇〇市」のようにした。また、山形県以外の場合は、「東京都」や「広島県」のように都道府県名とした。

5歳～13歳の期間は、第1回調査の報告書『地域社会の言語生活：鶴岡における実態調査（国立国語研究所報告5）』（国立国語研究所，1953）による言語形成期の考え方に基づいている。

言語形成地コード

コード	内訳
1	鶴岡市
2	鶴岡市以外の山形県
3	山形県以外の都道府県
99	不明

「言語形成地」を数値化したものである。

言語形成期の鶴岡居住年数

コード	内訳
0	0年
1	1年
2	2年
3	3年
4	4年
5	5年
6	6年
7	7年
8	8年
9	9年
99	不明

5歳～13歳の間に鶴岡市に居住した期間（年数）を記した。

言語形成期の山形県居住年数

コード	内訳
0	0 年
1	1 年
2	2 年
3	3 年
4	4 年
5	5 年
6	6 年
7	7 年
8	8 年
9	9 年
99	不明

5 歳～13 歳の間に鶴岡市を含む山形県に居住した期間（年数）を記した。

職業

コード	内訳
1	専門的・技術的職業従事者
2	管理的職業従事者
3	事務的従事者
4	販売従事者
5	サービス職業従事者
6	保安職業従事者
7	農林漁業従事者
8	運輸・通信従事者
9	生産工程・労務作業従事者
10	分類不能の職業
11	無職(主婦・学生を含む)
99	不明

総務省統計局『日本標準職業分類』（平成 9 年 12 月改定，平成 14 年 6 月に一部改定）に準拠して調査対象者の職業を分類した。

複数の職業を持つ場合，または，複数のコードに分類できる場合は，コードの小さい順にセミコロンの（;）でつないで併記した。

学歴

コード	内訳
1	なし
2	小学校
3	高等小学校・新制中学校
4	旧制中学校・新制高等学校
5	旧制高等学校
6	専門学校
7	大学
90	その他
99	不明

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

最後に卒業した学校、いわゆる「最終学歴」を記入した。

父親の出身地

コード	内訳
1	鶴岡市
2	鶴岡市以外の山形県
3	山形県以外の都道府県
99	不明

母親の出身地

コード	内訳
1	鶴岡市
2	鶴岡市以外の山形県
3	山形県以外の都道府県
99	不明

配偶者の出身地

コード	内訳
1	鶴岡市
2	鶴岡市以外の山形県
3	山形県以外の都道府県
4	配偶者なし
99	不明

3. 音声・音韻項目

音声・音韻項目は全 36 項目である。質問番号は第 2 回調査・第 3 回調査のもので統一し、この質問番号の順に統一コード表を掲げる。

統一コードは、基本的に「1」が共通語の音価ないしアクセント型、「90」は「その他」, 「99」は NR（無回答）である。鶴岡調査データベース ver.2.0 では、ver.1.0 の統一コードの変更を行っている。ver.1.0 の統一コードを変更した項目については、注記を施しているので注意されたい。

また、各質問項目について、参考として調査票対照表を掲載した。質問番号や分類コードの内容は、第 1 回～第 3 回調査の調査票で違いがある。また、同一の調査回であっても、報告書に収録された調査票と、実査に用いた調査票とで、分類コードの内容や音声記号に違いがある。そのため、第 1 回～第 3 回調査の調査票の分類コードを比較できるようにした。対照表の各調査回の分類コードにおいて、スラッシュ（/）の前が報告書調査票、後が実査調査票である。音声記号は各調査票の表記をそのまま転記している。

201. クチ（口；有声性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	tʃ
2	z
90	その他
99	NR

※ver.1.0 の統一コード「3 : tʃ+z」（回答内訳は「tʃu」1 例「kuʃsu」1 例「tsi」1 例「ts」1 例）は、ver.2.0 では廃止した。これにより ver.2.0 では、「tʃu」の回答は統一コード「1 : tʃ」に、「kuʃsu」「tsi」「ts」の回答は統一コード「90 : その他」に再分類した。

※ver.2.0 では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第 1 回調査		第 2 回調査		第 3 回調査	
質問番号	61		201		201	
分類コード	1	-tʃ- / -tʃ-	1	tʃ / tʃ	1	tʃ / tʃ
	2	-z- / -z-	3	z / z	2	z / z
	3	その他	9	その他	9	その他

202. ヒゲ（髭；唇音性Ⅱ）

【統一コード表】

コード	内訳
1	ç
2	F
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「3：ç+F」（回答内訳は「fi」2例「fige」1例「F」1例）は、ver.2.0では廃止した。これにより ver.2.0 では、「F」の回答は統一コード「2：F」に、「fi」「fige」の回答は統一コード「7：その他」に再分類した。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	34		202		202	
分類コード	1	çi- / xi-	1	ç / ç	1	ç / ç
	2	çi- / Fçi-	3	F / F	2	F / F
	3	その他	9	その他	9	その他

203. セナカ（背中；口蓋性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	s
2	ş, ç
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	40		203		203	
分類コード	1	se- / se-	1	s / s	1	s / s
	2	şè-, çè- / çe-	3	ş, ç / ş, ç	2	ş, ç / ş, ç
	3	その他	9	その他	9	その他

※第1回調査では、報告書調査票と実査調査票とで分類コード2の内容が異なっている。

203a. セナカ（背中；アクセント）

【統一コード表】

コード	内訳
1	LHH
2	LHL
90	その他
99	NR

※ver.1.0 の統一コード「3：LLL」「4：HLL」「5：HHL」「6：LLH」は、ver.2.0 では廃止した。
 これにより ver.2.0 では、「LLL」「HLL」「HHL」「LLH」の回答は統一コード「90：その他」に再分類した。

※ver.2.0 では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第 1 回調査		第 2 回調査		第 3 回調査	
質問番号	40		203		203	
分類コード	1		1		1	
	2		3		2	
	3	その他	9	その他	9	その他

204. アセ（汗；口蓋性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	s
2	ʃ, ʒ
90	その他
99	NR

※ver.2.0 では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第 1 回調査		第 2 回調査		第 3 回調査	
質問番号	41		204		204	
分類コード	1	ase / ase	1	s / s	1	s / s
	2	aʃè, aʒè / aʃe, aʒe	3	ʃ, ʒ / ʃ, ʒ	2	ʃ, ʒ / ʃ, ʒ
	3	その他	9	その他	9	その他

※第 1 回調査では、報告書調査票と実査調査票とで分類コード 2 の内容が異なっている。

205. ハチ（蜂；有声性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	tʃ
2	z
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	60		205		205	
分類コード	1	-tʃ- / -tʃ-	1	tʃ / tʃ	1	tʃ / tʃ
	2	-z- / -z-	3	z / z	2	z / z
	3	その他	9	その他	9	その他

206. ハト（鳩；有声性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	t
2	d
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	59		206		206	
分類コード	1	-t- / -t-	1	t / t	1	t / t
	2	-d- / -d-	3	d / d	2	d / d
	3	その他	9	その他	9	その他

207. ネコ（猫；有声性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	k
2	g
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	57		207		207	
分類コード	1	-k- / -k-	1	k / k	1	k / k
	2	-g- / -g-	3	g / g	2	g / g
	3	その他	9	その他	9	その他

207a. ネコ（猫；アクセント）

【統一コード表】

コード	内訳
1	HL
2	LH
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「3：LL」は、ver.2.0では廃止した。これにより ver.2.0では、「LL」の回答は統一コード「90：その他」に再分類した。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	57		207		207	
分類コード	1		1		1	
	2		3		2	
	3	その他	9	その他	9	その他

208. ヘビ（蛇；唇音性Ⅱ）

【統一コード表】

コード	内訳
1	h
2	F
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	35		208		208	
分類コード	1	xe- / he-	1	x / x	1	x / x
	2	φce- / Fce-	3	F / F	2	F / F
	3	その他	9	その他	9	その他

※分類コード1では、第1回調査の実査調査票は「h」、それ以外は「x」が使われているが、「h」と「x」は同じものとみなした。

209. マド（窓；鼻音性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	d
2	~d
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	37		209		209	
分類コード	1	-d- / -d-	1	d / d	1	d / d
	2	~d- / ~d-	3	~d / ~d	2	~d / ~d
	3	その他	9	その他	9	その他

210. ハタ（旗；有声性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	t
2	d
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	58		210		210	
分類コード	1	-t / -t-	1	t / t	1	t / t
	2	-d / -d-	3	d / d	2	d / d
	3	その他	9	その他	9	その他

210a. ハタ（旗；アクセント）

【統一コード表】

コード	内訳
1	LH
2	LL, HL
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「3：HL」「10：複数回答」（回答内訳は「LL, HL」1例）は、ver.2.0では廃止した。また、ver.1.0の統一コード「2：HL」は、ver.2.0では「2：LL, HL」に変更した。これにより ver.2.0では、「HL」の回答は統一コード「2：LL, HL」に、複数回答（「LL, HL」）は統一コード「2：LL, HL」に再分類した。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	58		210		210	
分類コード	1		1		1	
	2		3		2	
	3	その他	9	その他	9	その他

※第3回調査の報告書調査票は「1. ●○ 2. ○○, (○●)」とあるが、誤記のため、「●○」を「○○」に、「○○, (○●)」を「○○, (●○)」に改めて記載した。

211. スズ（鈴；鼻音性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	dz
2	~z
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	38		211		211	
分類コード	1	-dz- / -z-	1	dz / dz	1	dz / dz
	2	~z- / -~z-	3	~z / ~z	2	~z / ~z
	3	その他	9	その他	9	その他

212. オビ（帯；鼻音性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	b
2	~b
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	39		212		212	
分類コード	1	-b- / -b-	1	b / b	1	b / b
	2	~b- / -~b-	3	~b / ~b	2	~b / ~b
	3	その他	9	その他	9	その他

213. クツ（靴；有声性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	ts
2	z
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「3：tsi」（回答内訳は「tʃi」7例「tʃi」1例「tʃ」1例「tsü」1例）は、ver.2.0では廃止した。これにより ver.2.0では、「tsü」の回答は統一コード「1：ts」に、「tʃi」「tʃ」の回答は統一コード「90：その他」に再分類した。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	62		213		213	
分類コード	1	-ts- / -ts-	1	ts / ts	1	ts / ts
	2	-z- / -z-	3	z / z	2	z / z
	3	その他	9	その他	9	その他

214. カキ（柿；有声性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	k
2	g
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	56		214		214	
分類コード	1	-k- / -k-	1	k / k	1	k / k
	2	-g- / -g-	3	g / g	2	g / g
	3	その他	9	その他	9	その他

215. マツ（松；有声性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	ts
2	z
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	63		215		215	
分類コード	1	-ts- / -ts-	1	ts / ts	1	ts / ts
	2	-z- / -z-	3	z / z	2	z / z
	3	その他	9	その他	9	その他

216. スイカ（西瓜；唇音性 I）

【統一コード表】

コード	内訳
1	k
2	g ^w , k ^w
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「3：g」（回答内訳は「g」30例「gaN」13例「ga」11例「k」2例「kwa」2例「k_a」1例「kaN」1例「kwaN」1例「su:ga」1例）は、ver.2.0では廃止した。これにより ver.2.0では、「g」「ga」「k」「k_a」「su:ga」の回答は統一コード「1：k」に、「kwa」の回答は統一コード「2：g^w, k^w」に、「gaN」「kaN」「kwaN」の回答は統一コード「90：その他」に再分類した。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	64		216		216	
分類コード	1	-ka / -ka	1	k / k	1	k / k
	2	-g ^w a, -k ^w a / -gwa	3	gw, kw / gw, kw	2	g ^w , k ^w / gw, kw
	3	その他	9	その他	9	その他

※第1回調査では、報告書調査票と実査調査票とで分類コード2の内容が異なっている。

217. カヨウビ（火曜日；唇音性Ⅰ）

【統一コード表】

コード	内訳
1	k
2	k ^w
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	65		217		217	
分類コード	1	kα- / ka-	1	k / k	1	k / k
	2	k ^w α- / kwa-	3	kw / kw	2	k ^w / kw
	3	その他	9	その他	9	その他

218. ヒヤク（百；唇音性Ⅱ）

【統一コード表】

コード	内訳
1	x
2	F
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	36		218		218	
分類コード	1	çα- / xa-	1	ç / ç	1	ç / ç
	2	φα- / Fçja-	3	F / F	2	F / F
	3	その他	9	その他	9	その他

219. ゼイムシヨ（税務署；口蓋性）

【統一コード表】

コード	内訳
1	dz
2	ʒ
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	43		219		219	
分類コード	1	dze:- / dze:-	1	dz / dz	1	dz / dz
	2	ʒe:- / ʒe:-	3	ʒ / ʒ	2	ʒ / ʒ
	3	その他	9	その他	9	その他

220. イキ（息；イとエⅡ）

【統一コード表】

コード	内訳
1	i
2	e
3	i
4	i, e
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「2:i」「3:e」は、ver.2.0では「2:e」「3:i」に変更した。また、ver.2.0では統一コード「4:i, e」を新たに設けた。ver.2.0では統一コードを大幅に変更しているので注意されたい。第1回～第3回のデータを通して比較する場合には、「2:e」「3:i」を合算してから「4:i, e」と比べるなどの処理が必要である。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

※ver.1.0の「220. イキ」では、データ処理のミスも発見されているため、ver.2.0の利用を推奨する。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	44		220		220	
分類コード	1	i-/i-	1	i/i	1	i/i
	-	-	3	è/è	2	e/è
	-	-	7	i/i	3	i/i
	2	i-, è-/i-	-	-	-	-
	3	その他	9	その他	9	その他

※第1回調査では、報告書調査票と実査調査票とで分類コード2の内容が異なっている。

※第2回調査以降、狭いエ「e」と中舌のイ「i」の分類コードが分離されている。

221. エキ（駅；イとエ I）

【統一コード表】

コード	内訳
1	e
2	ẽ
3	i
4	i, ẽ
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「2:i」「3:ẽ」は、ver.2.0では「2:ẽ」「3:i」に変更した。また、ver.2.0では統一コード「4:i, ẽ」を新たに設けた。ver.2.0では統一コードを大幅に変更しているので注意されたい。第1回～第3回のデータを通して比較する場合には、「2:ẽ」「3:i」を合算してから「4:i, ẽ」と比べるなどの処理が必要である。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

※ver.1.0の「221.エキ」では、データ処理のミスも発見されているため、ver.2.0の利用を推奨する。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	45		221		221	
分類コード	1	e- / e-	1	e / e	1	e / e
	-	-	3	ẽ / ẽ	2	ẽ / ẽ
	-	-	7	i / i	3	i / i
	2	i-, ẽ- / i-	-	-	-	-
	3	その他	9	その他	9	その他

※第1回調査では、報告書調査票と実査調査票とで分類コード2の内容が異なっている。

※第2回調査以降、狭いエ「ẽ」と中舌のイ「i」の分類コードが分離されている。

222. イト（糸；イとエⅡ）

【統一コード表】

コード	内訳
1	i
2	e
3	i
4	i, e
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「2:i」「3:e」は、ver.2.0では「2:e」「3:i」に変更した。また、ver.2.0では統一コード「4:i, e」を新たに設けた。ver.2.0では統一コードを大幅に変更しているので注意されたい。第1回～第3回のデータを通して比較する場合には、「2:e」「3:i」を合算してから「4:i, e」と比べるなどの処理が必要である。なお、ver.1.0の統一コード「1:e」は「1:i」の誤記である。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

※ver.1.0の「222. イト」では、データ処理のミスも発見されているため、ver.2.0の利用を推奨する。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	46		222		222	
分類コード	1	i-/i-	1	i/i	1	i/i
	-	-	3	e/e	2	e/e
	-	-	7	i/i	3	i/i
	2	i-, e-/i-	-	-	-	-
	3	その他	9	その他	9	その他

※第1回調査の報告書調査票では「1.i- 2.i-, e-」とあるが、誤記または印刷の欠落と考えられるため、「i-」を「i」に改めて記載した。

※第1回調査の実査調査票では「1.e- 2.i-」とあるが、誤記のため、「e-」を「i-」に改めて記載した。

※第1回調査では、報告書調査票と実査調査票とで分類コード2の内容が異なっている。

※第2回調査以降、狭いエ「e」と中舌のイ「i」の分類コードが分離されている。

223. エントツ（煙突；イとエ I）

【統一コード表】

コード	内訳
1	e
2	ẽ
3	i
4	i, ẽ
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「2:i」「3:ẽ」は、ver.2.0では「2:ẽ」「3:i」に変更した。また、ver.2.0では統一コード「4:i, ẽ」を新たに設けた。ver.2.0では統一コードを大幅に変更しているので注意されたい。第1回～第3回のデータを通して比較する場合には、「2:ẽ」「3:i」を合算してから「4:i, ẽ」と比べるなどの処理が必要である。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

※ver.1.0の「223. エントツ」では、データ処理のミスも発見されているため、ver.2.0の利用を推奨する。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	47		223		223	
分類コード	1	e-/e-	1	e/e	1	e/e
	-	-	3	ẽ/ẽ	2	ẽ/ẽ
	-	-	7	i/i	3	i/i
	2	i-, ẽ-/i-	-	-	-	-
	3	その他	9	その他	9	その他

※第1回調査では、報告書調査票と実査調査票とで分類コード2の内容が異なっている。

※第2回調査以降、狭いエ「ẽ」と中舌のイ「i」の分類コードが分離されている。

224. チジ（知事；中舌音Ⅱ）

【統一コード表】

コード	内訳
1	i
2	i
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	48		224		224	
分類コード	1	tʃidʒi / tʃidʒi	1	i / dʒi	1	i / i
	2	-~zi / -žī	3	i / zi	2	i / i
	3	その他	9	その他	9	その他

225. チズ（地図；中舌音Ⅰ）

【統一コード表】

コード	内訳
1	u
2	i
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「3：u+i」（回答内訳は「dʒi」1例「i」1例「zu」1例）は、ver.2.0では廃止した。これにより ver.2.0では、「zu」の回答は統一コード「1：u」に、「i」の回答は統一コード「2：i」に、「dʒi」の回答は統一コード「90：その他」に再分類した。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	49		225		225	
分類コード	1	-dzɯ / -dzü	1	u / dzu	1	u / u
	2	-~zi / -žī	3	i / zi	2	i / i
	3	その他	9	その他	9	その他

226. シマ（島；中舌音Ⅱ）

【統一コード表】

コード	内訳
1	i
2	ɨ
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	50		226		226	
分類コード	1	ʃi- / ʃi-	1	i / ʃi	1	i / i
	2	si- / si-	3	i / si	2	i / i
	3	その他	9	その他	9	その他

227. スミ（墨；中舌音Ⅰ）

【統一コード表】

コード	内訳
1	u
2	ɨ
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	51		227		227	
分類コード	1	stɯ- / sɯ-	1	u / su	1	u / u
	2	si- / si-	3	i / si	2	i / i
	3	その他	9	その他	9	その他

228. カラス（鳥；中舌音 I）

【統一コード表】

コード	内訳
1	u
2	i
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第 1 回調査		第 2 回調査		第 3 回調査	
質問番号	52		228		228	
分類コード	1	-stt / -süi	1	u / su	1	u / u
	2	-sie / -si	3	i / si	2	i / i
	3	その他	9	その他	9	その他

228a. カラス（鳥；アクセント）

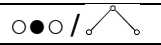
【統一コード表】

コード	内訳
1	HLL
2	LHL
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「3：LLL」「4：LHH」「5：HHL」「6：LLH」「10：複数回答」（ver.1.0では複数回答は出現しない）は、ver.2.0では廃止した。これにより ver.2.0では、「LLL」「LHH」「HHL」「LLH」の回答は統一コード「90：その他」に再分類した。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第 1 回調査		第 2 回調査		第 3 回調査	
質問番号	52		228		228	
分類コード	1		1		1	
	2		3		2	
	3	その他	9	その他	9	その他

229. カラシ（辛子；中舌音Ⅱ）

【統一コード表】

コード	内訳
1	i
2	ɨ
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「3：ü」(回答内訳は「sü」3例「stü」1例「i」1例「karasü」1例「karastü」1例)は、ver.2.0では廃止した。これにより ver.2.0では、「i」の回答は統一コード「1：i」に、「sü」「stü」「karasü」「karastü」の回答は統一コード「90：その他」に再分類した。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	53		229		229	
分類コード	1	karaʃi / karaʃi	1	i / ʃi	1	i / i
	2	-sie / -si	3	ɨ / si	2	ɨ / i
	3	その他	9	その他	9	その他

230. キツネ（狐；中舌音Ⅰ）

【統一コード表】

コード	内訳
1	u
2	ɨ
90	その他
99	NR

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	54		230		230	
分類コード	1	-tsu- / -tsü-	1	u / tsu	1	u / u
	2	-zi- / -zi-	3	ɨ / zi	2	ɨ / i
	3	その他	9	その他	9	その他

231. ウチワ（団扇；中舌音Ⅱ）

【統一コード表】

コード	内訳
1	i
2	ɨ
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「3:ü」(回答内訳は「tstt」2例「tsi」1例「tʃi」1例「tʃü」1例「utsuwa」1例)「4:u」(回答内訳は「u」1例)は、ver.2.0では廃止した。これにより ver.2.0では、「tsi」の回答は統一コード「1:i」に、「tʃi」の回答は統一コード「2:ɨ」に、「tstt」「tʃü」「utsuwa」の回答は統一コード「90:その他」に再分類した。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	55		231		231	
分類コード	1	-tʃi- / -tʃi-	1	i / tʃi	1	i / i
	2	-zi- / -zi-	3	ɨ / zi	2	ɨ / i
	3	その他	9	その他	9	その他

※第1回調査の実査調査票では「1. -tʃi- 2. -zi-」とあるが、誤記のため、「-zi-」を「-zi-」に改めて記載した。

231a. ウチワ（団扇；アクセント）

【統一コード表】

コード	内訳
1	LHL
2	LLH, LLL
4	LHH
90	その他
99	NR

※ver.1.0の統一コード「3：LLL」「5：HLL」「6：HHL」「10：複数回答」（回答内訳は「LHL」1例）は、ver.2.0では廃止した。また、ver.1.0の統一コード「2：LLH」は、ver.2.0では「2：LLH, LLL」に変更した。これにより ver.2.0では、「LLL」の回答は統一コード「2：LLH, LLL」に、「HLL」「HHL」の回答は統一コード「90：その他」に、複数回答（「LHL」）は「1：LHL」に再分類した。

※第3回調査では「LHH」の回答が2割程度あるため、統一コード「4：LHH」を設けた。

※ver.2.0では「その他」の統一コードを「90」に変更した。

【調査票対照表】 報告書調査票 / 実査調査票 の順

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	55		231		231	
分類コード	1		1		1	
	2		3		2	
	3	その他	9	その他	9	その他

※第1回調査では、報告書調査票と実査調査票とで分類コード2の内容が異なっている。

4. 言語生活項目

鶴岡調査データベース ver.2.0 では、言語生活項目の中から、場面による使い分け意識に関する4項目を収録した。統一コード表とともに、参考として調査票対応表も掲げる。

C1. 家の中のことば

【質問文】

お家で家族の方たちといろいろお話をなさる時のことばは鶴岡弁ですか。それとも標準語ですか。いろいろ混ざりますか。

【統一コード表】

コード	内訳
1	標準語
2	方言
3	混ざる
4	家族なし
5	使い分ける
99	NR

※「家族がいない」というケースに対して、NR とは別に統一コード「4：家族なし」を設けた。

※「相手によって標準語と方言を使い分ける」といったコメント（調査者が記したもの）に対して、統一コード「5：使い分ける」を設けた。ただし、使い分けのコードは標準語（共通語）と方言の使い分けだけに用い、「鶴岡弁と三川弁を使い分ける」といったものは対象外とした。

【調査票対照表】

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	22		309		410	
分類コード	1	標準語	1	標	1	標準語
	3	方言	2	方	2	方言
	2	まざる	3	混	3	混ざる
	-		0	N.A.	-	N.A.

C2. 近所の顔見知りとのことば

【質問文】

近所の顔見知りの方とお話なさる時は？

【統一コード表】

コード	内訳
1	標準語
2	方言
3	混ざる
5	使い分ける
99	NR

※「相手によって標準語と方言を使い分ける」といったコメント（調査者が記したもの）に対して、統一コード「5：使い分ける」を設けた。ただし、使い分けのコードは標準語（共通語）と方言の使い分けだけに用い、「鶴岡弁と三川弁を使い分ける」といったものは対象外とした。

【調査票対照表】

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	23		309		410	
分類コード	1	標準語	1	標	1	標準語
	3	方言	2	方	2	方言
	2	まざる	3	混	3	混ざる
	－		0	N.A.	－	N.A.

C3. 鶴岡で顔見知りでない人とのことば

【質問文】

鶴岡の人で顔見知りでない方もおありでしょうが、そういう人とお話なさる時は？

【統一コード表】

コード	内訳
1	標準語
2	方言
3	混ざる
5	使い分ける
99	NR

※「相手によって標準語と方言を使い分ける」といったコメント（調査者が記したもの）に対して、統一コード「5：使い分ける」を設けた。ただし、使い分けのコードは標準語（共通語）と方言の使い分けだけに用い、「鶴岡弁と三川弁を使い分ける」といったものは対象外とした。

【調査票対照表】

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	24		309		410	
分類コード	1	標準語	1	標	1	標準語
	3	方言	2	方	2	方言
	2	まざる	3	混	3	混ざる
	－		0	N.A.	－	N.A.

C4. 旅の人とのことば

【質問文】

旅の人などにお話なさる時は？

【統一コード表】

コード	内訳
1	標準語
2	方言
3	混ざる
5	使い分ける
99	NR

※「相手によって標準語と方言を使い分ける」といったコメント（調査者が記したもの）に対して、統一コード「5：使い分ける」を設けた。ただし、使い分けのコードは標準語（共通語）と方言の使い分けだけに用い、「鶴岡弁と三川弁を使い分ける」といったものは対象外とした。

【調査票対照表】

	第1回調査		第2回調査		第3回調査	
質問番号	25		309		410	
分類コード	1	標準語	1	標	1	標準語
	3	方言	2	方	2	方言
	2	まざる	3	混	3	混ざる
	－		0	N.A.	－	N.A.

5. その他の項目

鶴岡調査データベース ver.2.0 では、その他調査に関する項目として調査者 No.を収録した。

調査者 No.

コード
1～38

第1回～第3回鶴岡調査には、異なり 38 名が調査者として参加している。各調査者に固有の調査者 No.を与えた。

複数の調査者で面接調査を行った場合は、調査者 No.の小さい順にセミコロン (;) でつないで併記した。

6. 度数表

属性項目の一部と音声・音韻項目，言語生活項目について，使用コードの度数表を掲載する。度数表では，第1回調査を「1」，第2回調査を「2」，第3回調査を「3」，ランダムサンプルを「RS」，パネルサンプルを「PS」と示す。また，ランダム・パネル共通サンプルはランダムサンプルに含めて集計した。

性別

	1RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	212	179	49	181	136
2	284	222	58	224	172
計	496	401	107	405	308

年代

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	57	31	0	45	0
2	95	68	0	52	0
3	131	99	4	86	12
4	97	86	19	74	47
5	77	70	30	78	77
6	39	47	37	68	80
7	0	0	16	2	67
8	0	0	1	0	24
9	0	0	0	0	1
計	496	401	107	405	308

※第3回調査のランダムサンプルに「7：70代」が2あるが，これは調査年から生年を引き算して機械的に年齢を算出したため，70歳になったものである（サンプリング時の年齢は69歳である）。この2サンプルは「6：60代」に含めて扱ってよいものである。

言語形成地コード

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	338	241	77	254	202
2	117	117	22	100	78
3	38	42	7	49	26
99	3	1	1	2	2
計	496	401	107	405	308

言語形成期の鶴岡居住年数

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
0	150	151	29	140	99
1	0	1	0	0	1
2	0	1	0	0	1
3	3	2	0	4	1
4	2	4	0	5	2
5	2	4	0	1	2
6	6	4	1	2	3
7	3	3	1	3	2
8	4	6	1	6	6
9	323	224	74	241	189
99	3	1	1	3	2
計	496	401	107	405	308

言語形成期の山形県居住年数

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
0	36	37	7	42	23
1	0	0	0	0	0
2	0	1	0	0	1
3	1	1	0	0	0
4	1	3	0	6	2
5	4	2	0	1	2
6	5	1	1	2	1
7	1	5	1	2	4
8	3	5	1	3	5
9	442	345	96	346	268
99	3	1	1	3	2
計	496	401	107	405	308

職業

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	28	40	11	61	21
2	14	32	5	18	12
3	12	36	1	27	19
4	58	50	17	30	31
5	20	20	5	18	17
6	1	5	0	4	3
7	14	2	3	6	4
8	6	10	2	9	6
9	77	36	10	63	33
10	39	31	5	41	18
11	37	121	40	120	134
複数	4	5	0	8	8
99	186	13	8	0	2
計	496	401	107	405	308

学歴

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	24	0	1	0	0
2	145	41	20	11	26
3	184	150	44	108	103
4	83	165	32	165	110
5	5	0	1	2	6
6	8	17	5	32	5
7	12	21	2	47	19
90	31	5	1	34	36
99	4	2	1	6	3
計	496	401	107	405	308

父親の出身地

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	257	151	60	203	132
2	186	204	37	154	146
3	42	45	6	48	27
99	11	1	4	0	3
計	496	401	107	405	308

母親の出身地

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	258	135	61	172	117
2	188	215	36	184	161
3	42	51	6	47	29
99	8	0	4	2	1
計	496	401	107	405	308

配偶者の出身地

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	203	166	62	172	163
2	117	125	38	97	104
3	40	35	6	29	23
4	123	75	1	105	17
99	13	0	0	2	1
計	496	401	107	405	308

201.クチ(口;有声性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	328	352	84	367	275
2	165	42	23	17	31
90	2	7	0	19	2
99	1	0	0	2	0
計	496	401	107	405	308

202.ヒゲ(髭;唇音性Ⅱ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	178	297	49	369	239
2	315	97	55	34	63
90	3	7	3	2	6
99	0	0	0	0	0
計	496	401	107	405	308

203.セナカ(背中;口蓋性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	370	375	92	392	281
2	123	26	15	12	25
90	2	0	0	1	1
99	1	0	0	0	1
計	496	401	107	405	308

203a.セナカ(背中;アクセント)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	46	84	9	148	64
2	448	310	93	219	223
90	0	6	5	36	21
99	2	1	0	2	0
計	496	401	107	405	308

204.アセ(汗;口蓋性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	396	370	93	393	290
2	95	31	14	10	15
90	2	0	0	1	1
99	3	0	0	1	2
計	496	401	107	405	308

205.ハチ(蜂;有声性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	302	356	78	372	278
2	192	40	29	15	29
90	1	5	0	18	0
99	1	0	0	0	1
計	496	401	107	405	308

206.ハト(鳩;有声性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	302	350	77	388	277
2	194	51	30	17	31
90	0	0	0	0	0
99	0	0	0	0	0
計	496	401	107	405	308

207.ネコ(猫;有声性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	310	328	73	373	265
2	186	73	34	32	42
90	0	0	0	0	0
99	0	0	0	0	1
計	496	401	107	405	308

207a.ネコ(猫;アクセント)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	57	140	27	267	118
2	437	257	80	130	180
90	1	4	0	4	8
99	1	0	0	4	2
計	496	401	107	405	308

208.ヘビ(蛇;唇音性Ⅱ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	236	375	78	391	282
2	260	25	22	14	25
90	0	1	7	0	1
99	0	0	0	0	0
計	496	401	107	405	308

209.マド(窓;鼻音性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	254	320	79	372	239
2	242	78	28	33	67
90	0	3	0	0	1
99	0	0	0	0	1
計	496	401	107	405	308

210.ハタ(旗;有声性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	318	344	79	382	264
2	177	56	28	21	40
90	1	0	0	2	2
99	0	1	0	0	2
計	496	401	107	405	308

210a.ハタ(旗;アクセント)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	46	117	21	193	99
2	437	284	86	203	207
90	0	0	0	5	0
99	13	0	0	4	2
計	496	401	107	405	308

211.スズ(鈴;鼻音性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	163	289	57	352	203
2	331	112	49	51	104
90	1	0	1	2	0
99	1	0	0	0	1
計	496	401	107	405	308

212.オビ(帯;鼻音性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	240	330	71	351	221
2	256	70	36	54	87
90	0	1	0	0	0
99	0	0	0	0	0
計	496	401	107	405	308

213.クツ(靴;有声性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	336	361	90	393	273
2	151	39	17	12	35
90	9	1	0	0	0
99	0	0	0	0	0
計	496	401	107	405	308

214.カキ(柿;有声性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	309	354	72	378	273
2	186	43	34	26	35
90	0	4	1	1	0
99	1	0	0	0	0
計	496	401	107	405	308

215.マツ(松;有声性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	347	365	85	393	276
2	148	36	21	12	32
90	1	0	1	0	0
99	0	0	0	0	0
計	496	401	107	405	308

216.スイカ(西瓜;唇音性 I)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	350	394	101	400	303
2	129	7	3	4	2
90	17	0	3	1	3
99	0	0	0	0	0
計	496	401	107	405	308

217 カヨウビ(火曜日;唇音性Ⅰ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	441	398	106	404	308
2	52	3	1	1	0
90	0	0	0	0	0
99	3	0	0	0	0
計	496	401	107	405	308

218.ヒャク(百;唇音性Ⅱ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	210	330	64	372	248
2	286	70	42	32	60
90	0	0	1	0	0
99	0	1	0	1	0
計	496	401	107	405	308

219.ゼイムシヨ(税務署;口蓋性)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	235	384	104	399	301
2	260	14	3	4	6
90	0	1	0	0	0
99	1	2	0	2	1
計	496	401	107	405	308

220.イキ(息;イとエⅡ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	139	249	36	344	202
2	0	58	17	24	37
3	0	93	54	37	68
4	353	0	0	0	0
90	0	1	0	0	0
99	4	0	0	0	1
計	496	401	107	405	308

221.エキ(駅;イとエⅠ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	175	274	39	343	197
2	0	119	56	53	102
3	0	8	11	3	8
4	321	0	0	0	0
90	0	0	1	6	0
99	0	0	0	0	1
計	496	401	107	405	308

222.イト(糸;イとエⅡ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	292	313	63	375	255
2	0	34	6	9	13
3	0	54	38	21	40
4	204	0	0	0	0
90	0	0	0	0	0
99	0	0	0	0	0
計	496	401	107	405	308

223.エントツ(煙突;イとエⅠ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	371	326	58	360	233
2	0	75	44	37	73
3	0	0	5	3	1
4	122	0	0	0	0
90	0	0	0	5	1
99	3	0	0	0	0
計	496	401	107	405	308

224.チジ(知事;中舌音Ⅱ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	160	233	41	283	135
2	324	166	65	120	168
90	1	0	0	0	5
99	11	2	1	2	0
計	496	401	107	405	308

225.チズ(地図;中舌音Ⅰ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	159	283	50	365	204
2	335	116	57	38	101
90	2	1	0	2	0
99	0	1	0	0	3
計	496	401	107	405	308

226.シマ(島;中舌音Ⅱ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	247	292	56	331	197
2	246	109	51	74	110
90	0	0	0	0	0
99	3	0	0	0	1
計	496	401	107	405	308

227.スミ(墨;中舌音Ⅰ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	333	312	66	377	225
2	163	88	41	27	82
90	0	1	0	0	0
99	0	0	0	1	1
計	496	401	107	405	308

228.カラス(烏;中舌音Ⅰ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	274	328	65	382	222
2	219	73	42	22	82
90	2	0	0	0	1
99	1	0	0	1	3
計	496	401	107	405	308

228a.カラス(烏;アクセント)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	43	89	12	221	73
2	447	306	94	156	206
90	3	6	1	26	25
99	3	0	0	2	4
計	496	401	107	405	308

229.カラン(辛子;中舌音Ⅱ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	164	212	30	297	132
2	326	174	77	103	174
90	2	15	0	4	1
99	4	0	0	1	1
計	496	401	107	405	308

230.キツネ(狐;中舌音Ⅰ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	300	352	79	388	229
2	196	47	28	16	76
90	0	2	0	0	1
99	0	0	0	1	2
計	496	401	107	405	308

231.ウチワ(団扇;中舌音Ⅱ)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	279	333	51	322	178
2	214	61	56	75	128
90	3	7	0	2	0
99	0	0	0	6	2
計	496	401	107	405	308

231a.ウチワ(団扇;アクセント)

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	32	50	8	92	38
2	464	329	96	209	196
4	0	11	1	92	66
90	0	10	1	9	6
99	0	1	1	3	2
計	496	401	107	405	308

C1.家の中のことは

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	30	20	10	16	23
2	411	260	68	222	159
3	54	120	27	157	118
4	1	1	2	8	2
5	0	0	0	1	2
99	0	0	0	1	4
計	496	401	107	405	308

C2.近所の顔見知りとのことは

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	38	37	10	43	33
2	392	257	70	222	180
3	66	105	27	126	90
5	0	1	0	6	1
99	0	1	0	8	4
計	496	401	107	405	308

C3.鶴岡で顔見知りでない人とのことは

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	91	167	34	159	117
2	287	108	32	89	77
3	118	123	39	134	103
5	0	3	1	20	5
99	0	0	1	3	6
計	496	401	107	405	308

C4.旅の人とのことは

	1 RS	2 RS	2 PS	3 RS	3 PS
1	195	242	52	274	186
2	124	48	19	27	34
3	177	111	36	100	82
5	0	0	0	1	1
99	0	0	0	3	5
計	496	401	107	405	308

鶴岡調査データベース ver.2.0 解説（改訂版）

2017 年 12 月 20 日

国立国語研究所